

【G20外相会合に向けてのシンポジウム】

民主主義の危機は世界共通の課題

市民社会スペース縮減の時代から SDGsゴール16達成に向けて



- 日時 2019年11月16日(土) 13:00～17:00(12:30開場)
- 場所 なごや人権啓発センター(ソレイユプラザ)研修室
地下鉄伏見駅より南へ徒歩5分 伏見ライフプラザ12階
- 基調講演 『多国間会議における市民社会スペースの確保～C20の経験から～』
講師 三輪 敦子 さん
(一財)アジア太平洋・人権情報センター(ヒューライツ大阪)所長

●参加費 学生:500円 一般:1000円

●お問い合わせ 名古屋NGOセンター

〒460-0004名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL&FAX:052-228-8109

E-mail: info@nangoc.org

http://nangoc.org



事前申込は名古屋NGOセンターのウェブサイト <http://nangoc.org> 申し込みフォームから

●サイドイベント:同日の11:30より、同じ会場でチベット映画『恐怖を乗り越えて』(30分)の無料上映を行います。



主催 東海市民社会ネットワーク

特定非営利活動法人 泉京・垂井(せんと・たるい)

特定非営利活動法人 地域の未来・志援センター

特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター



市民社会スペースについて

私たちがいきいきと活動するための基盤

「市民社会スペース」という言葉を初めて聞みなさん！意味不明の、変な言葉とお思いでしょう。無理ありません。国際NGOのネットワーク団体が2011年頃から「civic space」という用語を使い始めたので、比較的新しい言葉です。日本ではアドボカシーNGOを中心に「市民社会スペース」あるいは「市民スペース」と訳して使っています。「市民社会スペース」とは市民や市民団体が自由に生き生きと活動する物理的な場所やヴァーチャルな領域、法制度等の政策環境のことを指します。

時代を逆戻りさせないために

なぜこの言葉が使われるようになったのでしょうか。第2次大戦後多くの植民地が独立と民主化を果たしました。しかし近年、権威主義的な独裁体制に逆戻りする傾向が広がり、民主主義や自由を求める人々の声を圧殺する動きが世界のあちこちで見られるようになってきました。これは国際的な開発協力をしているNGOにとって支援が中断したり成果が破壊されることにつながり、好ましいことではありません。そこで、人々が自由に集会・結社・表現できる場や法的な環境を擁護する必要が高まり、これを civic space の危機としてとらえて、分野を越えて問題を共有する視野を提供する概念としてこの言葉が提示されました。

日本でも圧力や忖度が

ではなぜ日本でこの言葉を使うのでしょうか。近年日

本では、ヘイトスピーチや過激な排外主義の動き、公権力による特定の目的を理由にした公共施設の使用拒否などが広く見られます。炎上を恐れて自由にものが言えなかったり、行政の意向を忖度して表現を変えたりとか、みなさんの周りにも思い当たる節があるのではないのでしょうか。こうした状況は影響を受けた団体だけでなく市民社会共通の課題だといえます。そこでこれを「市民社会スペースの狭隘化」とか「市民社会スペースの縮小」ととらえることによって、広い範囲の市民と認識を共有し議論することができるのではないかと、私たちは考えています。

SDGsゴール16を軸に

11月22日～23日、名古屋でG20外相会合が開かれます。参加する国々の中には民主化や自由を求める人々を弾圧したり迫害している国々があります。こうした国々に対して、日本社会に市民社会スペースの問題について関心を持つ市民がいることを示すことは、その国々の虐げられている人々との間に連帯を作り出すことにつながり、大きな意味があります。

SDGsゴール16は「平和と公正をすべての人に」と謳っています。市民社会スペースの縮小の問題に取り組む人々に勇気と力を与える目標です。このイベントでは、みなさんと共に「市民社会スペース」の具体的な事例を紐解きながら、ゴール16の考え方を軸にして、市民社会スペースの問題への理解を深めたいと思います。

三輪敦子さんのプロフィール

日本赤十字社外事部(現国際部)、国連女性開発基金(現UN Women)アジア太平洋地域バンコク事務所、(公財)世界人権問題研究センター等において、ジェンダー、開発、人道支援、人権分野の様々なプログラムの実施支援や調査・研究に携わってきた。2017年より、(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)所長。2019 C20共同議長。(一社)SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事。(特活)関西NGO協議会代表理事。国連ウィメン日本協会副理事長。



プログラム

☆開会あいさつ

☆G20 大阪市民サミットからのメッセージ

☆基調講演「多国間会議における市民社会スペースの確保～C20の経験から～」

☆東海地域市民社会からの課題提示

～SDGsゴール16「平和と公正をすべての人に」を軸に考える～

- ①移民の人権: 在日外国人、安い労働力として使い捨て?
- ②難民の権利: チベットの現状と日本における支援
- ③市民活動と政策環境: 「不自由」をのりこえて
- ④公正・平等: 気候変動問題は国家間・世代間の不公正

<休憩>

☆グループ討論

☆まとめ